



谷口 和弥
議員
(日本共産党
幕別町議員団)



地域から孤立し誰にも看取られることなく、死後長期間にわたり放置され発見されるという、たいへん痛ましい事案が道内各地で発生している。幕別町においても「幕別町地域福祉計画」の中で、孤独死の防止に向けた取り組みとして「安否確認の体制整備の推進」が強調されてきた。誰もが住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らすことができる地域社会を実現させていく上で、以下の点について伺う。

(1)幕別町における「孤立死」の発生状況について。
(2)「幕別町高齢者見守りネットワーク事業」の協力機関の登録状況と実態について。
(3)今後の「ひとり暮らし高齢者等への支援体制」の強化に向けた施策について。

問

「孤立死」をなくす体制の強化を

答

地域住民や事業者等を含めた地域全体で支える仕組みづくりが重要

例が1件発生している。

(2)協力機関は、平成26年11月末現在では161事業所等が登録している。これまでの間、協力事業所による日ごろの見守りの中で、高齢者の何気ない行動や兆候の変化などについて連絡をもらい、必要な介護サービスや身の回りの支援などにつながったという事例があった。

今後高齢者への声かけや緊急事態に対し、適切かつ速やかに対応できる体制を整備することによって、高齢者の孤立を予防し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進していきたい。

(3)本町では、食の自立支援サービス事業や外出支援サービスなどを通じて安否の確認や健康状況などの把握にも努めている。

また、各地域において、「地域サロン」や「地域敬老行事」などに積極的に取り組んでもらうことにより、住民同士の触れ合いや円滑な人間関係づくりが一步一歩築かれていくように、町としても引



青葉第1公区での地域敬老行事の様子

き続き支援に努めていきたい。

問

健康寿命の延伸に向けた取り組み強化を

答

来年度「健診意向調査」を実施し、受診率向上に取り組む



健康づくりを支える環境づくりを整備し、町民一人一人が主体的に健康づくりに取り組むことにより健康寿命の延伸を目指すことを掲げた「まぐべつ健康21」が策定された。計画の中

で各種検診の受診率の向上をかかっているが、現状はたいへん低受診率であるといえる。幕別町として受診率アップさせる取り組みが必要であると考え。以下の点について伺う。

(1)スマイル検診・後期高齢者健診の受診率に向けた取り組みについて。

(2)町が助成する各種検診を、町内外のかかりつけの医療機関でも受診できるようにすべきと考えるがどうか。

町長 (1)受診率向上のため、今年度から40歳に到達する国保被保険者の特定健診の自己負担額の無料化や低受診率の年齢層への再度の個別勧奨などを行っているが、さらに、今後は年度当初に「健診意向調査」を実施し、受診を希望しない方に対し、積極的な受診勧奨を行うことも検討している。

後期高齢者健診は、今年度から76歳に到達する方に受診券を送付したが、次年度からは全ての方に受診券を発送し、健康寿命の延伸に努めていきたい。

(2)町指定の医療機関以外でも、主治医のもとで行われた検査のデータの提供がある場合は特定健診で取り扱っているが、普段の医療の部分まで助成するのは難しい。